

## 日本映画衛星放送株式会社 第33回番組審議会議事録

1. 開催年月日 : 平成 25 年 5 月 14 日 (火) 15 時～16 時
2. 開催場所 : 東京都港区赤坂 2-17-22 赤坂ツインタワー東館 15F  
日本映画衛星放送株式会社 ボーディングルーム
3. 委員の出席 : 委員総数 8 名 / 出席委員数 7 名  
出席委員 (順不同、敬称略) : 菊地 実・川本 三郎・坂井 保之・鈴木 嘉一・  
曾根 和子・田保橋 淳・西 正  
欠席委員 (敬称略) : 鳥居 美砂  
放送事業者側出席者 : 代表取締役社長 杉田 成道  
常務取締役 酒井 彰  
編成制作局長 宮川 朋之  
編成制作部長 澤 尚志  
編成制作部(「THE☆BEST」プロデューサー) 松尾 紀明  
番審担当 堤 靖芳  
清水 明(記)

### 4. 議題 (1) 審議事項

「日本映画専門チャンネル」で放送しているオリジナル番組「THE☆BEST」について、こうした形の映画紹介番組についての評価と、それに続く作品が覆面編成(編成発表時に番組を公表しない)で放送されていることについて。

### (2) 報告事項

「時代劇専門チャンネル」において、スカパー!「無料の日」特別編成「『素浪人 花山大吉』レギュラー放送決定記念 さだまさし 時代劇スペシャル!」を放送したことについて。

### 5. 議題 (1) 概要

「日本映画専門チャンネル」で、昨年 11 月より放送を開始したオリジナル映画ガイド番組「THE☆BEST」と、それに続けて「THE☆BEST」の選定映画を編成していることについてご審議頂く。従来型の、映画評論家や映画関係者が作品について語るガイド番組と異なり、本番組は、バラエティ形式で、テーマに沿って出演者が推薦映画を出し合い、ナンバーワン映画を選定する趣向。こうした形の映画ガイド番組についての評価と、それに続く作品が覆面編成(編成発表時に番組を公表しない)で放送されていることについてご審議頂き、今後の新しい企画・編成や番組作りの指針とさせていただきます。

## 6. 議題（1）審議内容

- ・日本映画専門チャンネルのオリジナル番組としての意義は充分ある。視聴者参加型である点も評価出来る。
- ・一応ランキング番組だが、好きな映画について語り合うのが番組主旨であろうし、そうした様子を見るのは楽しかった。紹介する映画をワンカットも見せないことで、逆に興味が惹かれた。
- ・映画について議論するのは良いが、ワイドショー的で、笑いも多く、あまり共感出来ない。しかし、一映画好きとして、自分もテレビに向かって意見を言いたくなったり、見逃していた映画があると見たくなった。
- ・日本映画専門チャンネルの視聴層は、所謂シニア層が多いが、この番組は、若い映画好きだけで盛りあがっていて、視聴者に顔が向いていないのではないか。映画を知っている人と知らない人で大きな溝出来る番組だとも思った。
- ・見る楽しみがあり、語る楽しみもあるのが映画だ。だから、取り上げられた映画は見たくなったり、自分も意見を言いたくなったり。明るいトークバラエティとして良い。コメンテーターに女性を加えた方が更に良いだろう。
- ・ランキング番組としてはあまり評価出来ないが、カジュアルなトーク番組としてすごく面白い。「学園ドラマ」とかいった大きな括りをテーマにするのは良いと思う一方、映画の映像が無いことは、自分だけ分からない疎外感を受けた。
- ・映画専門チャンネル間のナビゲーションによる差別化は重要だが、「THE☆BEST」はナビゲーションとして大変良く出来ている。マニアックだが、マニアックだから面白い。
- ・このチャンネルを目的に契約している視聴者と、パックに入っていたから見ている視聴者で、番組の評価が違ふかもしれない。また、今若年層の加入促進を考える中で、「THE☆BEST」のような番組をどう位置付けるかを問いたい。

### <事業者回答>

- ・映画が好きな人達が集まって楽しく話している様子をそのまま放送したいというのが番組の主旨。自分の意見に共感して貰うよう出演者の方をお願いしている。
- ・オーソリティーが専門的に映画を説明する番組や、映画の背景や監督や主演を紹介する番組や、メイキング番組などを作ってきたが、そういうものではない新機軸の映画ナビゲーションだと思っている。
- ・日本映画専門チャンネルの平均視聴年齢は確かに高いが、この番組は若年層へのアプローチが目的。視聴世代拡大のために web 連携が必要だと考え、若い人達が時間を費やしているソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)でノイズを立てるための番組として「THE☆BEST」を企画した。現在ツイッターのフォロワー1万人を確保し、更に伸ばそうと考えている。
- ・BS、CS の映画専門チャンネル間よりも、地上波との差別化を考えていきたい。

#### 7. 議題（2）報告事項

ゴールデンウィーク中の5月5日、時代劇専門チャンネルで、さだまさしさんのナビゲーションによる「『素浪人 花山大吉』レギュラー放送決定記念 さだまさし 時代劇スペシャル!」を放送した。狙いは2点。1つは、一世を風靡した名作時代劇ドラマ『素浪人 花山大吉』を5月末から初ハイビジョン放送するにあたっての宣伝。もう1つは、この5月6日に弊社制作のオリジナル時代劇『新・御宿かわせみ』が、BSスカパーで先行放送になり、スカパー全体で時代劇を盛り上げるキャンペーンを実施する中で、5月5日を「時代劇無料の日」として無料放送を行い、加入者でない方にも見られる環境を作って、『新・御宿かわせみ』の宣伝と、視聴者獲得を狙った告知を行うこと。

8. 連絡事項：次回番組審議委員会は、2013年7月9日開催。

(以上)